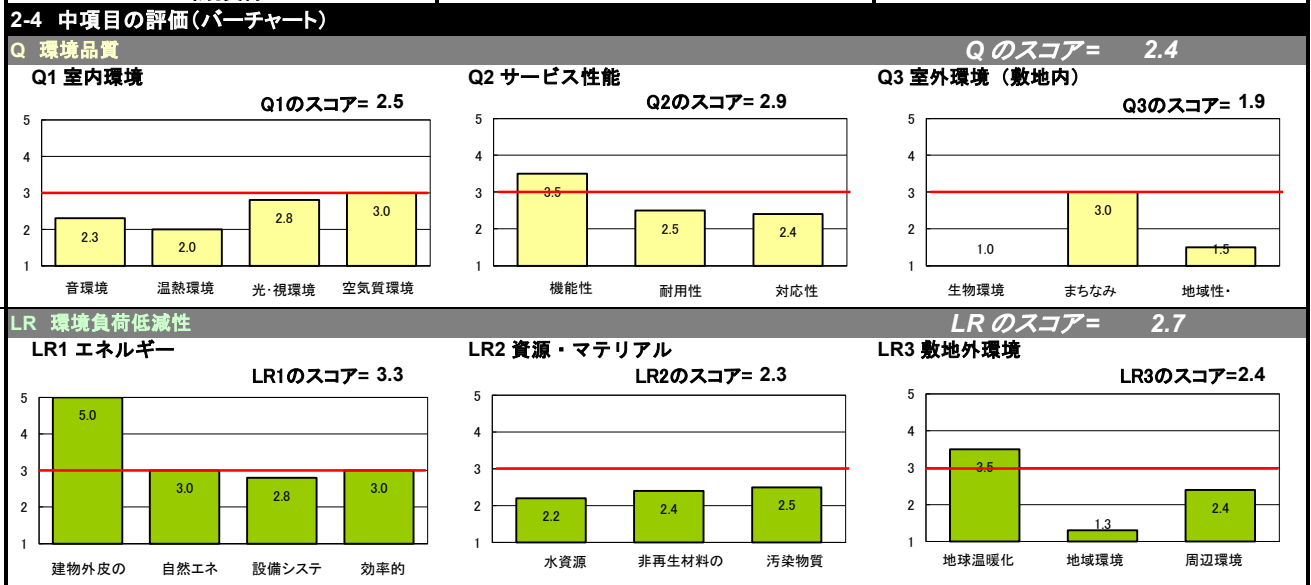
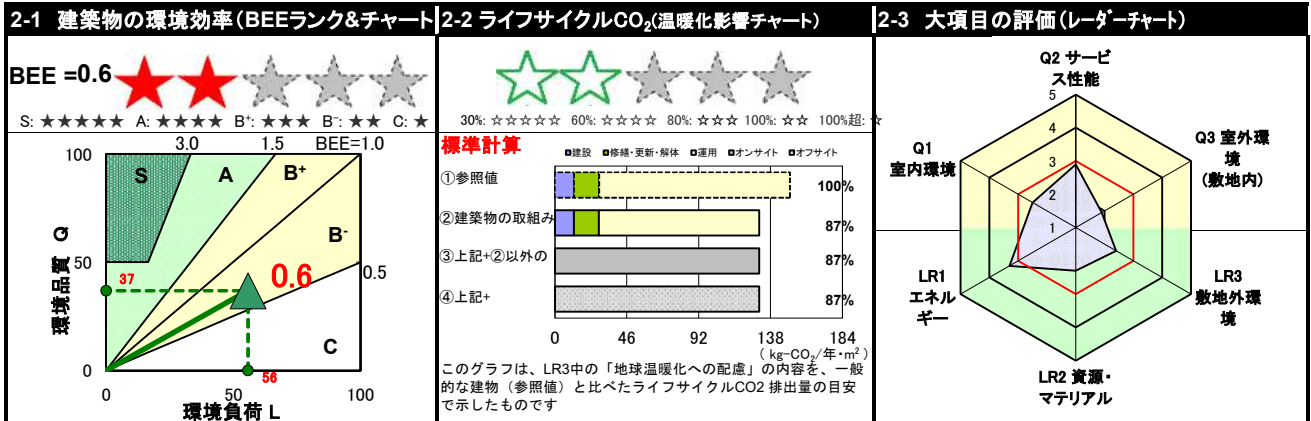


# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)所沢山口計画	階数	地上3F地下2F
建設地	埼玉県所沢市大字山口字村中413	構造	RC造
用途地域	準住居地域、第一種低層住居専用地域	平均居住人員	384 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年7月8日
敷地面積	2,867 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ファウンテン
建築面積	1,169 m <sup>2</sup>	確認日	2024年7月8日
延床面積	3,491 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 良好な居住性と周辺環境への馴染みやすさを目標とした。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 個室間の遮音性能は標準水準以上とし、室内の照度計画も不具合のないように計画した。	<b>Q2 サービス性能</b> 老人ホームという施設の性格上バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準を守り、さらに埼玉県の福祉のまちづくり条例を満たす計画とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 出来る限り空地を確保した。
<b>LR1 エネルギー</b> 効率的な機器を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建築基準法に則った適正な躯体計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 雨水流出対策を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)所沢山口計画**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.3</b>	0.15	<b>2.2</b>	1.00	<b>2.3</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1.2 遮音		<b>2.4</b>	0.40	<b>2.2</b>	0.40	
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.0</b>	0.35	<b>2.0</b>	1.00	<b>2.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光制御		2.0	1.00	<b>3.0</b>	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00	<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性	居室の面積は10㎡以上	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		<b>1.6</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>2.5</b>	0.30	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>1.8</b>	0.30	<b>1.8</b>	0.50	
1	階高のゆとり	1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>2.8</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.30	-	-	<b>1.9</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	1.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.84	2.8	0.50	-	2.8
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>2.3</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
1.1	節水	1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>2.5</b>	0.20	-	-	<b>2.5</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	2.3	0.70	-	-	
1	消火剤	2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	2.0	0.33	-	-	
3	冷媒	3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2が一般的建物と同等	3.5	0.33	-	3.5
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>1.3</b>	0.33	-	-	<b>1.3</b>
2.1	大気汚染防止	1.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>2.4</b>	0.33	-	-	<b>2.4</b>
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	0.33	-	-	
2	振動	3.0	0.33	-	-	
3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制	1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制	3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)所沢山口計画	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.5	+	1.3	=	4.8
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.5
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
＜配慮した内容を記述＞			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
＜配慮した内容を記述＞			

 : 入力欄